

平成 20 年度「いわて年末年始無災害運動期間」中の労災発生状況

岩手労働局労働基準部 安全衛生課

「危険を見つけて 無くそう災害 あなたの無事が 家族の願い！」のスローガンの下に実施した、「いわて年末年始無災害運動」の労災発生状況をまとめましたので、お知らせします。

なお、本内容は、運動期間中(12 月～1 月)に発生した災害で労働者死傷病報告の提出のあったものを、平成 18 年度、平成 19 年度、平成 20 年度について、それぞれ 2 月 3 日時点で比較したものです。

1. 業種別災害発生状況

平成 20 年度の運動期間中の災害発生件数は 123 件となり、平成 19 年度に比べ 27 件減(-18%)の減少となっています。

業 種	製造業	建設業	運 輸 交通業	農林業	畜産・ 水産業	商 業	通信業	保健衛 生業	接客娛 楽業	清掃・ と畜業	その他 の事業	総 数
18 年度	33	23	6	13	5	19	3	4	6	8	7	127
19 年度	38	32	15	11	3	24	2	4	7	6	8	150
20 年度	28	15	8	12	5	16	6	8	7	10	8	123
19 年度/20 年度 差	-10	-17	-7	1	-2	-8	4	-4	0	4	0	-27

減少要因としては、暖冬と小雪による冬季特有災害[※]の 14 件の減少をはじめ、年末年始無災害運動の重点実施事項等に掲げた災害での 28 件の減少(4 に掲げる表参照)が挙げられます。

注)冬季特有災害とは

冬季の気象条件が要因となった災害で、代表的なものとして次のものが挙げられる。

1. 積雪・凍結による人の墜落・転落・転倒。
2. 凍結・風雪による車両事故(地吹雪による視界不良から発生したものを含む。)
3. 雪崩

2. 事故の型別発生状況

平成 20 年度の運動期間中の災害を事故の型別でみると、墜落・転落災害と巻き込まれ災害で二桁の減少となっておりますが、運動期間中の気象条件が温暖・小雪であったにもかかわらず、冬季特有災害である転倒災害の減少が2件にとどまっています。

型 別	墜落 転落	転倒	激突	飛来 落下	倒壊 崩壊	激突 され	巻き込 まれ	切れ こすれ	高低 温	有害 物	感電	破裂	交通 事故	動作 反動	そ の 他	総数
18 年度	22	18	8	10	3	9	19	15	3	1	1	1	11	5	1	127
19 年度	28	40	6	14	3	9	23	9	1				12	5		150
20 年度	15	38	8	11	2	7	12	12					10	5	3	123
19 年度/20 年度 差	-13	-2	-2	-3	-1	-2	-11	3	1	0	0	0	-2	0	3	-27

3. 死亡災害発生状況

運動期間中の死亡災害は、建設業(墜落災害)、清掃業(おぼれ)、建設業(おぼれ)、製造業(フォークリフト災害)の 4 件が発生し、前年度の 4 件と同数となりました。

4. 重点実施事項別災害発生状況

冬季特有災害、リスクアセスメントの実施(特に、製造業と土石採取業では巻き込まれ災害、建設業と陸上貨物運送業では墜落・転落災害、林業ではかかり木処理に係る災害防止)を重点実施事項等として実施しましたが、いずれの件数も昨年度より減少又は同数となり、増加したものはありませんでした。

業 種	重点実施事項等	18 年度	19 年度	20 年度	19 年度/20 年度 対象件数の差
		対象件数	対象件数	対象件数	
全業種	冬季特有災害	16	35	21	-14
製造業	機械装置による挟まれ・巻き込まれ災害	8	6	3	-3
土石採取業	ベルトコンベヤー災害	0	1	0	-1
陸上貨物運送業	積卸し作業時の転落災害	4	3	3	0
建設業	墜落災害	7	14	4	-10
林業	かかり木に係る災害	2	1	1	0
合計		37	60	32	-28

5. まとめ

本年度の運動期間中における死傷災害の発生件数は、対前年比較で 27 件の減少となりました。

昨年度の運動期間中の天候は記録的暖冬と記録的寒波の中間的な気象条件であったのに対し、本年度の天候は暖冬に加え小雪も相まった気象条件となったことが影響していると考えられます。

重点実施事項等に係る災害での減少が 28 件と、対前年比較減少件数の 27 件を反映した形となっており、今後も、本運動を通じ、年末年始はもとより年間における同種災害減少への波及効果も期待でき、今後も本運動を継続する方針です。

盛岡 日平均気温の月平均値(℃)

年度	12 月	1 月	備 考
平成 20 年度	2.0	-0.4	暖冬・小雪
平成 19 年度	0.6	-2.7	平年並
平成 18 年度	1.1	0.6	記録的暖冬
平成 17 年度	-1.7	-2.9	記録的寒波

平成20年度 年末年始無災害運動期間中(12月～1月)に発生した死亡災害

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
1	花巻	建設業 (道路建設工事業)	12月19日	金	男	52	墜落・転落	トラック	ダンプトラックの荷台清掃作業を行っていた被災者が、ダンプトラック脇で、左側後頭部より出血し、うつ伏せで倒れている状態で発見された。	国
2	盛岡	産業廃棄物処理業	12月22日	月	男	63	おぼれ	建築物、構築物	被災者は汚濁水を汲み上げ、別の貯水槽に移す作業をしていたが、同僚労働者が被災者がいないことに気づき、貯水槽から水を汲み上げたところ、槽の底から被災者を発見した。	
3	二戸	建設業 (その他の土木工事業)	1月31日	土	男	60	おぼれ	建築物、構築物	側溝に詰まった雪を除去作業中、雪で堰き止められていた上流側の水が急に激しい勢いで流れ出し、下流側で側溝の雪等を除去していた被災者が流された。30m下流で救出されたが、意識不明のまま翌日に死亡した。	
4	大船渡	木材木製品製造業	1月31日	土	男	58	激突され	フォークリフト	機械の清掃開始前の打ち合わせに向かった際、後進してきたフォークリフトに接触し、仰向けに倒れ、後頭部を床に打った。意識不明の状態が続いたが2月5日に死亡した。	